



音楽会をふりかえって… ①



11月18・19日の二日間で、「令和3年度音楽会」を開催いたしました。今年は新型コロナウイルス感染症第6波が心配される中で、各学年を2グループに分けて2～3クラスごとの発表としました。保護者の皆様には、マスク着用と手指消毒、健康観察、入場人数の制限など大変ご不便をおかけいたしました。

また、学校としては会場の換気に加え、PTA執行部の皆様のご協力を得て、入替ごとの会場床・座席等の消毒を行いました。おかげさまで何とか開催することができ、本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。これまでの音楽会と趣向を大きく変えて、2・3クラスの各演奏グループごとに「はじめのことば」と「おわりのことば」を言い、これまで練習に取り組んできた気持ちや曲に込めた思いを、そしてコロナ禍が終息することへの願いなどをその中に込めていました。

この号を『音楽会特集』として、皆様にご紹介いたします。今後、正面玄関入口「思い出広場」でも、音楽会の様子をご覧いただこうと計画中です。お子様の学年はもとより、他学年の演奏も是非お聞きください。以下に各担任団からの感想を一部紹介いたします。

音楽科担当（専科）教員から

3年ぶりの開催となり、消毒や換気、人との間隔をあけるなど、日頃とは違う形での音楽会となりました。4年生はチームワークの良さを、5年生は広い心を、6年生は明日に向かって懸命に進んでいる姿を、それぞれ表現しました。

どの学年も練習から意欲的で、授業は毎時間が驚くほどの集中力でした。本番では最高の演奏となりました。子どもたちの努力は音楽となり、人に感動を与えました。子どもたちは輝いていました。音楽会を素晴らしいものにした全ての笹っ子たちは本当にステキでした。



1年生「ともだちいっぱい 1ねんせい」 曲名 きらきら星 さんぽ



1年生にとっては、小学校生活で初めての音楽会でした。コロナ禍の中、いろいろな制限はありましたが、楽器ごとに教室

を分けた練習や、2クラスごとの体育館での合同練習と、小さな体で力いっぱいがんばりました。体は小さいけれど、みんなの合わせた力はとても大きく、どの子も満足げな表情で音楽会を終えました。私たち担任も、子どもたちの成長をとてうれしく思いました。音楽会后、子どもたちが作った俳句から一句

“みんなでね いつもいっしょに ほんばんも”

2年生「ささっこ音楽たい！ にじいろマーチ♪」

曲名 山の音楽家 山のポルカ ミッキーマウスマーチ



コロナ禍の制限があり、練習内容から何度も話し合いを重ねて当日を迎えることができました。2年生の子どもたちにとって

初めての音楽会で、入場の時の緊張した表情が印象的でした。本番では、これまでで一番上手な演奏で指揮者を見ながら音を合わせてやり遂げることができました。終わった後は、ホッとした表情やうれしそうな表情をうかべていました。感想にも充実した音楽会だったことが伝わる内容がたくさん書かれていました。

3年生「輝ける 未来に むかって」

曲名 ブラックホール(笛星人) 私と小鳥とすすと
Let it Go ～ありのままで～



3年生にとっては、はじめての音楽会でした。新しいリコーダーを手にウキウキしていた4月。それなのにコロナの影響で満足に練習できないまま2学期を迎えました。そこからの子どもたちのがんばりは素晴らしかったです。休み時間も一生懸命リコーダーや鍵盤ハーモニカの指づかいを練習し、一人ひとりの技術の向上はもちろん、みんなで音をひとつに合わせるということを意識しました。

やり終えた後の子どもたちの達成感にあふれた表情を見て、また一つ成長したことを感じられた音楽会でした。

4年生「心ひとつに ひびき合おう」

曲名 楽しいマーチ カントリーロード



4年生は、クラッピングファンタジー第7番「楽しいマーチ」とカントリーロードに取り組みました。本番の演奏は日頃の練習の成果が発揮できたのか自信に満ちた演奏で、子どもたちの真剣なまなざしに圧倒されました。

また音楽会の感想では、「大きな拍手をもらえたとき、一生懸命練習してよかった」や「みんなとこの曲をもっとひいていたい」という声がたくさんあがりました。今年の音楽会は、いつも以上に子どもたちも、私たちも得たものが多かったように感じます。この学びを今後に生かしていきたいと思ひます。